

好評放映中 11月

毎週木曜日19:00~19:30
視聴は <http://www.higashiosaka-n.com>

東大阪新聞チャンネル

3日 ゲスト：土江和弘さん
「小川秀人記者を偲ぶ」
(キャスター：小野元裕社長)

10日 「ウクライナのアイデンティティ (9)」
(キャスター：Ono Akiさん、エバ・ハダシさん)

17日 ゲスト：村松孝一さん「家を美しく装う」
(キャスター：根岸健太郎記者)

24日 「ウクライナのアイデンティティ (10)」
(キャスター：Ono Akiさん、エバ・ハダシさん)

世界救う笑顔の伝道

「元気があれば何でもできる」と世界を鼓舞し続けたアントニオ猪木が79歳で黄泉路へと旅立った10月の半ば、NPO法人日本スマイリスト協会主催の「笑顔の伝道」が兵庫県尼崎市の小田南生生涯学習センターで開かれた。

「元気があれば何でもできる」と世界を鼓舞し続けたアントニオ猪木が79歳で黄泉路へと旅立った10月の半ば、NPO法人日本スマイリスト協会主催の「笑顔の伝道」が兵庫県尼崎市の小田南生生涯学習センターで開かれた。

「元気があれば何でもできる」と世界を鼓舞し続けたアントニオ猪木が79歳で黄泉路へと旅立った10月の半ば、NPO法人日本スマイリスト協会主催の「笑顔の伝道」が兵庫県尼崎市の小田南生生涯学習センターで開かれた。

文具 大切に陳列販売

ひまる文具

店主 しまるま希さん

「文具にはその人の思いが詰まっている。削りたての鉛筆の香り、使い始めの消しゴムの丸み、貼ったばかりの糊の手触り。」

文房具にはその人の思いが詰まっている。削りたての鉛筆の香り、使い始めの消しゴムの丸み、貼ったばかりの糊の手触り。

東大阪

発行所 東大阪新聞社

〒577-0802 東大阪市内本町1-17 エフエスビル2F
TEL 06-6720-4601 FAX 06-6720-4603

八尾柏原支社
〒581-0013 八尾市山本町南6-2-29
TEL 072-926-5134 FAX 072-921-6893

「元気があれば何でもできる」と世界を鼓舞し続けたアントニオ猪木が79歳で黄泉路へと旅立った10月の半ば、NPO法人日本スマイリスト協会主催の「笑顔の伝道」が兵庫県尼崎市の小田南生生涯学習センターで開かれた。

「元気があれば何でもできる」と世界を鼓舞し続けたアントニオ猪木が79歳で黄泉路へと旅立った10月の半ば、NPO法人日本スマイリスト協会主催の「笑顔の伝道」が兵庫県尼崎市の小田南生生涯学習センターで開かれた。

「元気があれば何でもできる」と世界を鼓舞し続けたアントニオ猪木が79歳で黄泉路へと旅立った10月の半ば、NPO法人日本スマイリスト協会主催の「笑顔の伝道」が兵庫県尼崎市の小田南生生涯学習センターで開かれた。

「元気があれば何でもできる」と世界を鼓舞し続けたアントニオ猪木が79歳で黄泉路へと旅立った10月の半ば、NPO法人日本スマイリスト協会主催の「笑顔の伝道」が兵庫県尼崎市の小田南生生涯学習センターで開かれた。

「元気があれば何でもできる」と世界を鼓舞し続けたアントニオ猪木が79歳で黄泉路へと旅立った10月の半ば、NPO法人日本スマイリスト協会主催の「笑顔の伝道」が兵庫県尼崎市の小田南生生涯学習センターで開かれた。

「元気があれば何でもできる」と世界を鼓舞し続けたアントニオ猪木が79歳で黄泉路へと旅立った10月の半ば、NPO法人日本スマイリスト協会主催の「笑顔の伝道」が兵庫県尼崎市の小田南生生涯学習センターで開かれた。

東大阪・八尾 柏原の地域紙

おかげさまで90年
東大阪新聞は令和4年に
創刊90年を迎えました

ロシアによるウクライナ侵襲開始から8カ月が過ぎた。大国による独立国家蹂躞の現状をメディアが報じるなか、中国の同化政策によって「人として生きる権利」を奪われ続けているウイグル人自らが告発する証言集が10月3日に、東大阪市文化創造館（東大阪市御厨南2）で開かれた。

強制労働 不妊手術 臓器売買

ウイグル人滅亡政策

ひまる文具

店主 しまるま希
東大阪市内本町8-4-7
TEL 072-800-4538
営業日 月曜日～木曜日
営業時間 15時30分～18時

晴耕雨読

街の本屋さんが消えていく。住み始めたころの街は本屋さん、ケーキ屋、銀行の数が多かった。それから半世紀の今、美容院と整骨院、コンビニで街が高齢化したようだ。全国調査によると街の本屋さんは10年間で3割も減少した。人口減やネットの普及、コンビニの増加、収入の減少、出版企画の貧弱などが影響している。

「言語」「文化」「宗教」すべて否定

老齢の両親が強制収容所で殺され、兄弟も長期懲役刑を受けている世界ウイグル人会議のドルクン・エイサ総裁、強制不妊手術を施されたウイグル人女性らが中国語を教える役割を負わされた「生還者」ケルビナル・シディクさんが登壇。冒頭、エイサ総裁は、中国首脳の前でウイグル問題を挙げ解決に向けて支援を続けた安倍晋三元首相に対する敬意と感謝の意を述べた。ウイグル人に生まれたことが「罪」とされ、先祖より受け継いできた「言語」「文化」「宗教」すべてを否定され、男性は強制労働、女性はウイグル人滅亡政策による不妊手術、親か

ウイグル人滅亡政策

老齢の両親が強制収容所で殺され、兄弟も長期懲役刑を受けている世界ウイグル人会議のドルクン・エイサ総裁、強制不妊手術を施されたウイグル人女性らが中国語を教える役割を負わされた「生還者」ケルビナル・シディクさんが登壇。冒頭、エイサ総裁は、中国首脳の前でウイグル問題を挙げ解決に向けて支援を続けた安倍晋三元首相に対する敬意と感謝の意を述べた。ウイグル人に生まれたことが「罪」とされ、先祖より受け継いできた「言語」「文化」「宗教」すべてを否定され、男性は強制労働、女性はウイグル人滅亡政策による不妊手術、親か

ウイグル人に生まれたことが「罪」

出版業界が「丸ごと」全国の書店が横断的に参加できる「秋の読書推進月間」が始まった。従来の「読書週間」(10月27日～11月9日)に加えて、「本の日」「大切書院」「コンビニで街が高齢化した」などのテーマは「本を讀むことは美しい」とある。11月1日の「古本の日」は源氏物語の存在が確認される最古の日である寛弘5年(1008年)11月1日だったことに由来するものだが、古典ものも愛読したい。古典文学の朗読を耳を澄ませて聴く「きき読」を奨励しよう。

秋の読書推進月間始まる

出版業界が「丸ごと」全国の書店が横断的に参加できる「秋の読書推進月間」が始まった。従来の「読書週間」(10月27日～11月9日)に加えて、「本の日」「大切書院」「コンビニで街が高齢化した」などのテーマは「本を讀むことは美しい」とある。11月1日の「古本の日」は源氏物語の存在が確認される最古の日である寛弘5年(1008年)11月1日だったことに由来するものだが、古典ものも愛読したい。古典文学の朗読を耳を澄ませて聴く「きき読」を奨励しよう。

COBO DESIGN CO.,LTD.

デザインのチカラ

株式会社コボ
〒466-0855 名古屋市中区川名本町2-58-4
TEL: 052-763-7166 <http://www.cobodesign.co.jp>

株式会社 **カナオカ機材**

代表取締役社長 **七里和昭**

〒577-0033 東大阪市御厨東二ノ一
電話(06)6787-1445

株式会社 **河内鉄工所**

代表取締役社長 **河内修**

堺市堺区北庄町3丁1-17
TEL 072-221-4455

八尾自動車教習所

八尾市高安町南七丁目二十一番地
TEL 072-999-1234
HP: <http://www.yaokyo.net/>

大阪電気保安協同組合

高圧電圧設備の保守点検は
まかして安心・安全

TEL 072-949-1711
TEL 072-949-1712
TEL 072-949-1713

知っておけば安心
皮膚のあざや腫瘍

久志本東 著

形成外科皮膚科クリニック開業33年を記念して出版。悪性の腫瘍、母斑、皮膚の良性腫瘍、部位別に見る皮膚腫瘍等、カラー写真をもふんだんに使いながら分かりやすく説明している。

発行：ドニエブル出版
発売：新風書房
定価：3,300円(税別)
B5判 170頁並製本 978-4-88269-914-9

大雨 洪水 津波 台風

こんな時の必需品
「人引車」

災害時対応の必需品

監修 NPO法人災害避難研究所
企画開発 大興産業株式会社
製造 マツモラ産業株式会社

TEL 072-925-3450

日本ウクライナ文化交流協会

TEL 072-926-1134

銀行口座 三井住友銀行・八尾支店
(普通)1746 名義 日本ウクライナ文化交流協会

占領地に残された人達への支援のための寄付のお願い

戦争によって被害を受けた人達への支援は重要な課題です。国際社会は今、ウクライナからの避難民への支援に力を入れています。ウクライナから国外に避難した人達は、安全、この状況に於いてはまた快適な環境で生活をしていません。他方、激しい戦闘が行われている地域から、比較的安安全全な場所に避難したウクライナ国内の避難民の生活環境はあまりよくありません。ウクライナ国家のすべての財力や資源は、侵略者への抵抗に動員されているので、国内避難民への支援に充てる力は非常に限られています。とはいえ、国内避難民はまだ限られた支援を受けていることができます。最も絶望的な状況に置かれているのは、占領地に残ったウクライナ人です。ウクライナ政府は、占領地に残った人達に、一刻も早く脱出するように指示しています。しかし、今は占領地から脱出する手段はほぼありません。ほとんどの地域では、ロシア占領軍は道を塞いで、住民が出られないようにしています。場合によっては、占領地から脱出しようとするとき、ロシア軍は身分証明書などを没収します。そして、酷い時は拘束して問答する、または殺してしまうケースも少なくありません。だから、占領地に残された多くの人はそこを出ることができません。同時に、占領地においてほとんどの企業が破壊されたか、ロシア軍に占拠されたため、ほとんどの人が働くことができません。占領地に追い込まれています。働けず、収入がないため、多くの人々は食糧や生活必需品を買うことができません。今、占領地に残された人達にとって、生活の術を得る唯一の方法は、占領地の外にいる人から送金を受けることです。当協会は、占領地から脱出できない人達を支援するために、寄付金を募っています。多くの人にとって、このような支援は絶望的な唯一の方法です。受け取った寄付金を当協会の関係者が持っているウクライナの銀行口座に送金します。そして、関係者はそこから、ザポリージャ州とヘルソン州に残された人達に送金を行います。占領地に残された人達の問題は非常に深刻です。この問題は、避難民の問題に比べて焦点が当てられることが少ないです。占領地の現状を知ってほしい。当然、私達ができることは限られています。しかし、もし数百人だけでも救うことができれば、これは有意義な活動になると思います。皆様のご支援は文字通り、誰かの命を救う可能性があります。

